

# 補そう具と日具

## 1. 補そう具とは、無くした機能を補うもの

【 重度障害者用意思伝達装置は、利用者にとって、無くした機能の代わりにする機械です。 】

## 2. 日具とは、あったら便利

【 携帯用会話補助装置は、お出かけに便利だなと言った機器です。 】

利用者にとっては、どちらも、なくてはならないものになります。

# コミュニケーション機器の導入までの流れ(補そう具)

時間の経過

病気の告知

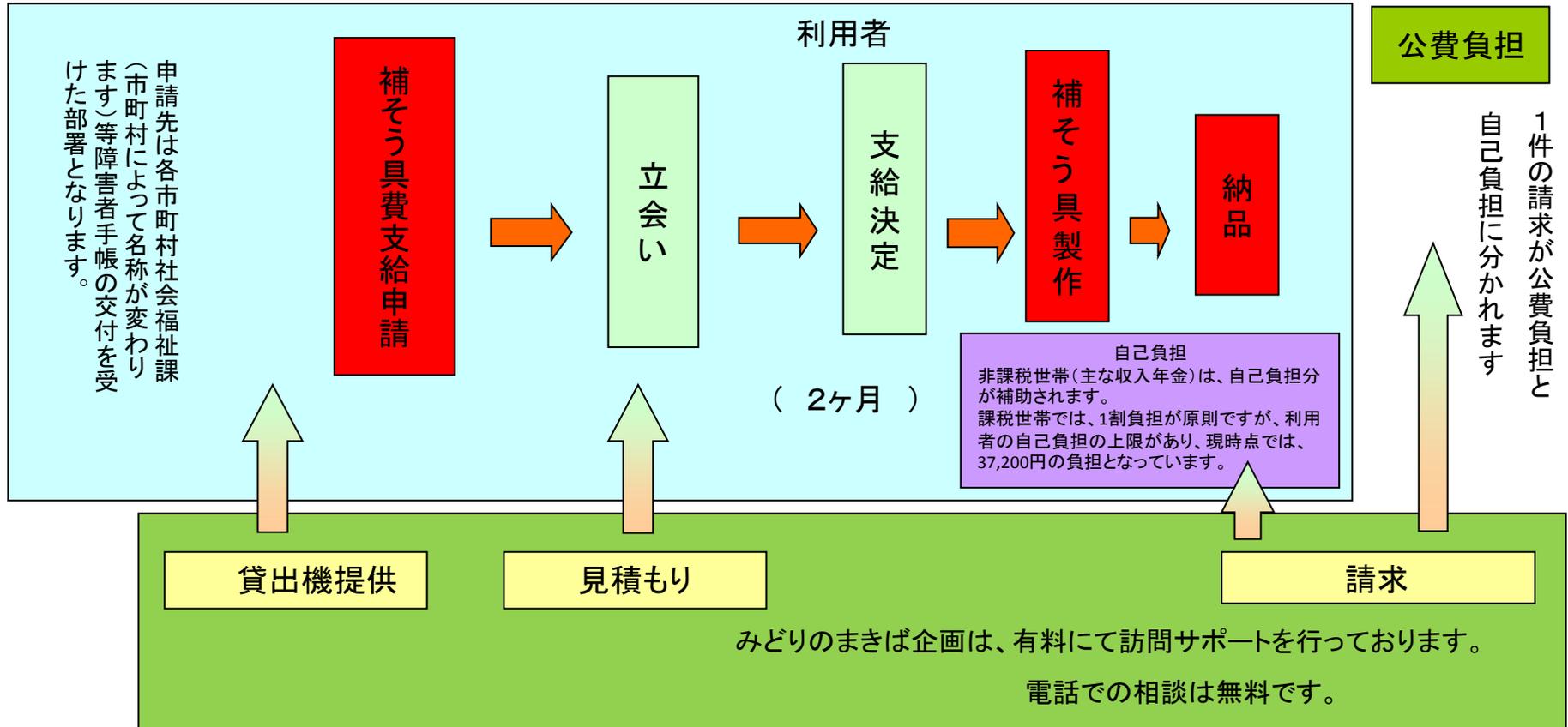
身体状況の変化  
手帳の交付

(株)みどりのまきば企画   
担当: 玉浦正憲  
電話: 080-6715-7773  
<http://midorinomakiba.org/index.html>  
Mail [tamamidomaki@yahoo.co.jp](mailto:tamamidomaki@yahoo.co.jp)

導入検討期

利用開始期

利用継続期



# コミュニケーション機器の導入までの流れ(日具)

時間の経過

病気の告知

(株)みどりのまきば企画

担当: 玉浦正憲

電話: 080-6715-7773

<http://midorinomakiba.org/index.html>

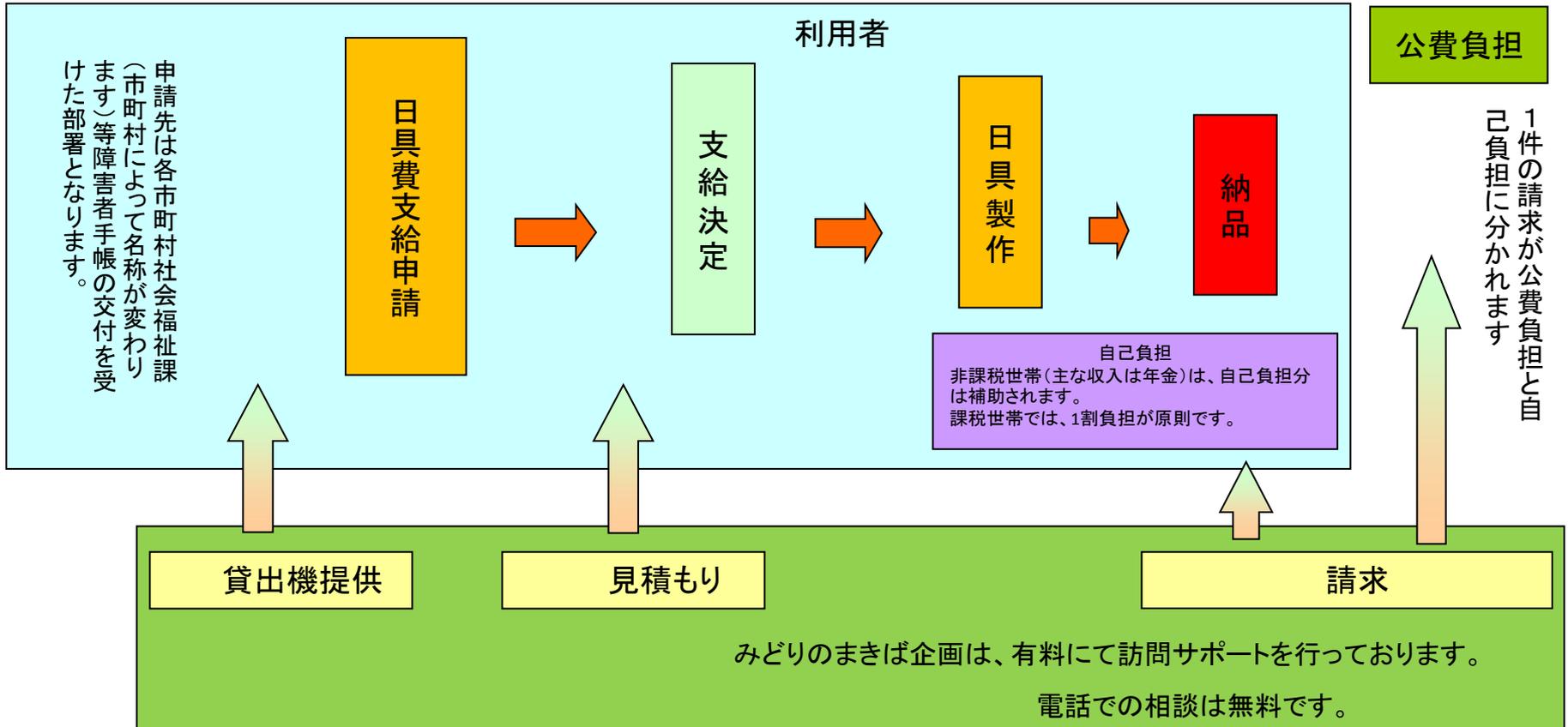
Mail [tamamidomaki@yahoo.co.jp](mailto:tamamidomaki@yahoo.co.jp)



導入検討期

利用開始期

利用継続期



# コミュニケーション機器を導入する前に必要性を もう一度考えてください

本人・家族間での必要性の確認

意思

具体性

誰がどのような場面で必要とするのか

どのように意思伝達を行っているのか

観察

確認

何が必要なのか

試す

# 利用者にとっての機器の適合

コミュニケーション機器を導入する場合、利用者にとって、使いやすい機器かどうかを判断することが大切です。  
機械には、必ず、向き不向きがあります。

有効に使える

サポートは得られるか

家族にとって負担とならないか

利用者にとって負担とならないか

制度を利用する場合、  
必ずしも必要性和制度の要件は一致していない